

解禁日時:2021年4月2日(木)午前0時(日本時間)

## プレス通知資料 (研究成果)



国立大学法人  
東京医科歯科大学  
TOKYO MEDICAL AND DENTAL UNIVERSITY

報道関係各位

2021年4月1日

国立大学法人 東京医科歯科大学

### 「コロナ禍で収入が減少した人は歯の痛みが1.4倍多い」 — 精神的ストレスが原因の可能性 —

#### 【ポイント】

- 新型コロナウイルスの影響を受け社会経済状況が悪化した人に歯の痛みが多く見られることが明らかになりました。
- 新型コロナウイルスによる世帯収入の減少、仕事の減少、失業を経験した人は、それぞれ 1.42 倍、1.58 倍、2.17 倍歯の痛みが多く、精神的ストレスが主な中間因子でした。
- 歯科疾患は最も多い病気の1つとして知られ、日本にも4000万人近くの人が治療を必要とするむし歯(詰め物が外れた状態なども含む)を有しており、コロナ禍で痛みが強くなる可能性もあります。新型コロナウイルスによる収入の減少や失業など経済的影響に対する政策が、歯科疾患の悪化を回避することにつながる可能性があるかと期待されます。

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学分野の松山祐助教、健康推進歯学分野の相田潤教授の研究グループは、大阪国際がんセンターの田淵貴大副部長らと名古屋大学との共同研究で、新型コロナウイルス流行の影響を受け社会経済状況が悪化した人は歯の痛みを訴えることが多く、精神的ストレスがその主な中間因子であることを明らかにしました。この研究は文部科学省科学研究費補助金、厚生労働科学研究費補助金、日本医療研究開発機構研究助成金、新型コロナウイルス緊急対策のための大学「知」活用プログラムの支援のもとでおこなわれたもので、その研究成果は、国際科学誌 Journal of Dental Research (ジャーナル・オブ・デンタルリサーチ)に、2021年4月1日午前10時(米国東部時間)にオンライン版で発表されます。

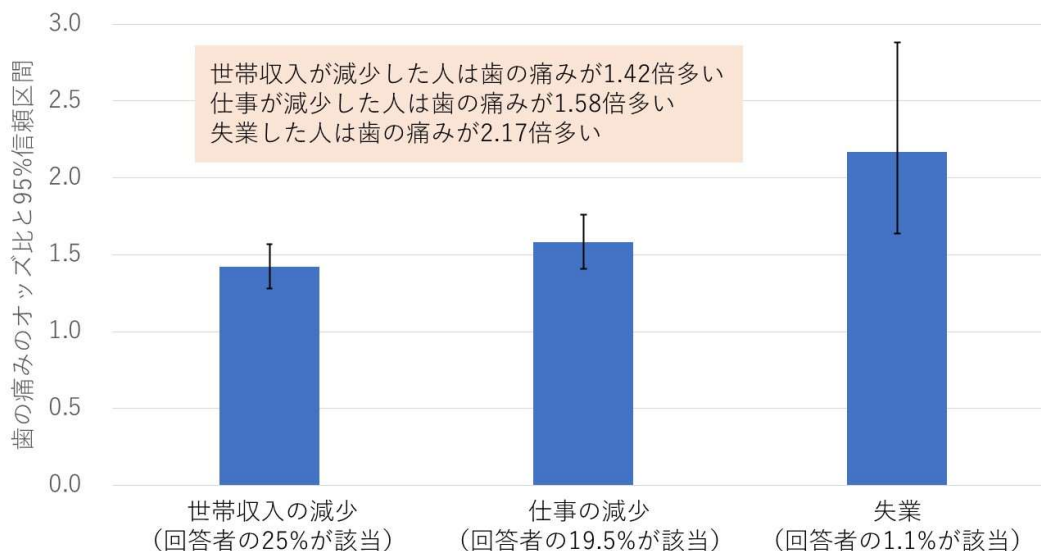


図1. 新型コロナウイルスの影響による社会経済状況の悪化と歯の痛みの関連

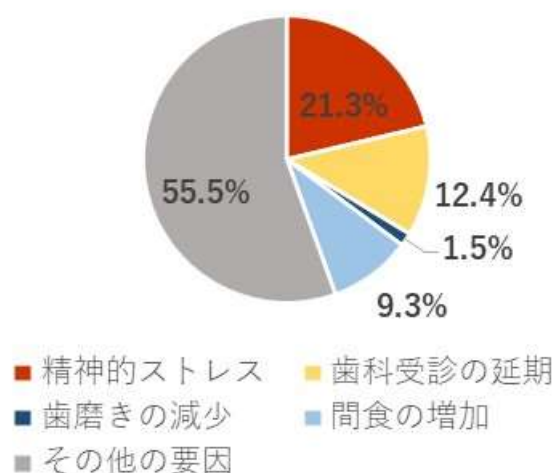


図2. 世帯収入の減少と歯の痛みの中間因子の内訳

### 【研究の背景】

新型コロナウイルス感染症対策として社会活動が制限され、経済への影響が懸念されています。世帯収入の減少や失業など社会経済状況の悪化は、口腔の健康にも悪影響を与える可能性があります。本研究は、新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済状況の悪化と歯の痛みの関連を明らかにすることを目的としました。

### 【研究成果の概要】

2020年8月から9月に日本全国の15-79歳男女を対象として実施された大規模なインターネット調査であるJACSIS研究(Japan COVID-19 and Society Internet Survey)の回答者25,482名のデータを分析しました。新型コロナウイルス感染症の影響による世帯収入の減少、仕事の減少、失業と直近1ヶ月の歯の痛みの関連を、

その他の背景因子を考慮した多変量ロジスティック回帰分析で検証しました。さらに、世帯収入の減少と歯の痛みの中間因子を媒介分析で検証しました。

その結果、歯の痛みは回答者の 9.8%にみられ、世帯収入の減少、仕事の減少、失業が歯の痛みに統計的に有意に関連していました(図1. それぞれオッズ比 [95% 信頼区間]は 1.42 [1.28, 1.57]、1.58 [1.41, 1.76]、2.17 [1.64, 2.88])。さらに、世帯収入の減少と歯の痛みの関連は、精神的ストレス(21.3%)、歯科受診の延期(12.4%)、歯磨きの減少(1.5%)、間食の増加(9.3%)が中間因子であることが明らかになりました(図2)。

### 【研究成果の意義】

新型コロナウイルスの影響で社会経済状況が悪化した人は歯の痛みが多いことが明らかになりました。社会経済状況の悪化が精神的ストレスや健康行動の変化につながり、歯の痛みを引き起こした可能性があります。歯科疾患は最も多い病気の1つとして知られ、日本にも4000万人近くの人が治療を必要とするむし歯(詰め物が外れた状態なども含む)を有しており、コロナ禍で痛みが強くなる可能性もあります。新型コロナウイルスによる収入の減少や失業など経済的影響に対する政策が、歯科疾患の悪化を回避することにつながる可能性があると期待されます。

### 【論文情報】

掲載誌: Journal of Dental Research

論文タイトル: Dental Pain and Worsened Socioeconomic Conditions Due to the COVID-19 Pandemic

### 【研究者プロフィール】

松山 祐輔 (マツヤマ ユウスケ) Yusuke Matsuyama

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

国際健康推進医学分野 助教

#### ・研究領域

公衆衛生、社会疫学、歯科疫学

### 【問い合わせ先】

#### <研究に関すること>

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

国際健康推進医学分野 松山 祐輔(マツヤマ ユウスケ)

TEL:03-5803-5189 FAX:03-5803-5190

E-mail:matsuyama.hlth@tmd.ac.jp

#### <報道に関すること>

東京医科歯科大学 総務部総務秘書課広報係

〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

TEL:03-5803-5011 FAX:03-5803-0272

E-mail:kouhou.adm@tmd.ac.jp